



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 フィリピン共和国・カオハガン島

期間 2017年2月10日～2月15日

参加メンバー

(上段左から) 倉橋 朋子(H) 山崎 亜希子(H) 中島 勝彦(V) 坂口 智計(D) 瀬野 耕司(D)

(中段左から) 上崎 秀美(D) 岡本 朋子(H) 大西 富子(H) 中島 ミラ(V) 今村 ちひろ(D)

(下段左から) 鳴田 さつき(H) 坂口 裕一(V) 菅原 勝人(D)



活動内容

2月10日(金曜日)

関西からは8人、成田から1人、セブで3人、翌日成田から1人の13人での活動

関西は1時間遅れで出発、セブに20時頃到着。成田は直行便だったが出発遅れ、加えてトラブルでマニラを経由したため、大幅に到着が遅れ23時頃に到着。先着メンバーは、大西・中島夫妻を残しカオハガンに22時過ぎに到着、0時頃残りの4人が到着。長時間空港で待っていてくれた大西・中島夫妻に感謝。



2月11日(土曜日)

今回はJDM以外のゲストが14日まで来ないということで食事前にミーティングを、大まかに振り分けして診療することに。12人で朝からバランガイホールで診療準備をはじめながら、診療へと進めていった。

近隣のパンダノン・パガンアの島民や、ボホールやマクタンなど遠くからも治療に来てくれた。

風が吹いて診療のしやすい日でしたが、夜にますます風が強くなり20時頃山崎が到着、波が高く山崎の荷物が海に落ちるアクシデントもあったが、これでメンバー13人全員がそろった。

2月12日(日曜日)

全員がそろったので自己紹介し、診療に。毎日日曜日の午前は診療前から行列ができていたのだが、この日はいつもと違って。あとからわかったことだが、波が高く近隣の島々の舟では転覆する危険もあり来島できない方がたくさんいたとのこと。どうにかして診療所に来てくれた方々は、上下ずぶぬれでどれだけ怖い思いをして来てくれたのかと…治療を必要とされていたんだと、精一杯の治療をしようとして全員で治療をした。セブ島西側からもカオハガン島まで治療に来るなど、JDMの活動が広く伝わっているようです。

午後のはんびりとした診療となり、入れ歯の修理キット作るなどした。メインの発電機が故障で、予備電源のため何度か機器が止まることがあったが、メンバーはうまく対応して診療していた。

夜には毎回恒例のマンゴーパーティを行った。今回不在の代表沢田が頑張っているメンバーの為にとスポンサーに。



2月13日(月曜日)

診療所と併行して、10時過ぎにDH山崎・鳴田 VO中島の3人が保健指導に。今回は噛むことの大切さをメインに指導し、歯みがきの集団指導をした。その後、歯科健診を行う。今回初の試みとして、《いつもは小学校で歯科健診をしてバランガイホールに行くようにしていたが、その間に逃げる生徒たちが多く》バランガイホールの隣で1クラスずつ歯科健診をすることにした。すぐにバランガイの中に連れていくことができるので、今後もこの方法が良いのかもしれない。ただ、カオハガンの生徒たちは1枚上手で、この日小学校健診があると察知した生徒たちは、学校を休むという手段に出ていた。一般診療に関してはこの日も波が高く多くの方々が来島で

きなかった。今まで歯科医師の数が少なかったり一般診療患者が多く、生徒たちの治療ができないことが多かったが、一般患者が少ないというマイナス面はあったがその分生徒たちの治療や予防をすることができた。明日からゲストが来るので、各自活動の感想などを話し合った。



2月14日(火曜日)

この日も風が強く波が高いためカオハガンの島民だけ治療をし、少しずつ撤収作業に入っていた。

昼食時にはエマさんからドーナツの差し入れをいただいた。

風の影響はポントグにも。いつも2・300人の観光客がいる砂浜は閑散としていた。

舟も出るのが危険なため、シュノーケルは中止に。各自のんびりと過ごし、夕方からポントグで運動会。

みのむし競争・玉入れ・リレー・綱引きなど。JDMメンバーの裕一君が、リレーメンバーを選抜。裕一君もアンカーとなり大活躍！

2月15日(水曜日)

波が変わらず高いため、いつもの出発時間に出ると外洋の遠いルートになり危険なので荷物は前日22時頃にマクタンに運び、メンバーは2時に出発、波が高くしぶきが何度かかかったが船長の操縦で無事マクタンに。しばらく車が来るのを待って、市場に向かいDR上崎におかゆを、DR瀬野にパンをごちそうになり、中島さんの計らいで空港向かいのホテルのロビーで時間まで休み、関西・成田など岐路につく。

総括

例年2月のミッションは 義歯作製を主にしていましたが
今回は 技工士さんの参加がなく、一般診療、口腔ケア だけになりました。
関空から9名、セブ合流3名、1日遅れ1名 合計13名での活動でした。

土日の2日目までは天候もよく潮の具合を見ての周辺離島、マクタン、セブ本島からの来院もありました。
月曜3日目から風、波が強くなり 一般診療は少なくなりましたが
その分 子供たちに専念できたようです。

健診が定着してきたのか、カオハガン島以外の島、地域からの来訪者も多かったように感じました。
長いJDMの関与によって、治療内容の傾向、島内外の来訪者の傾向に変化が見られるようで
島民の健康観のよい方向性につながってくれたらと祈るばかりです。

6日間の行程を準備くださった理事、会員の皆さん、協力して活動していただいた参加者の皆さんに 感謝し
つつ リーダー報告を締めくくります。

上崎秀美

	2/11	2/12	2/13	2/14	合計
抜歯	97本	91本	31本	2本	221本
CR	11本	3本	25本	1本	40本
セメント充填	18本	2本	75本	5本	100本
スケーリング	19人	25人	11人	3人	58人
チェックアップ			44人		44人
D修理	11床	1床	1床		13床
抜糸			1本		1本
受診者数	63人	58人	106人		237人

島別	
カオハガン	57人
小学校	89人
パンダノン	15人
パガンアン	10人
カブルアン	4人
クアミン	8人
コルトバ	13人
アグス	11人
マンダウエ市	1人
マリゴンドン	2人
サンタローサ	1人
サバン	1人
サンビンセンテ	12人
キンダッパン	1人
ラブラブ	1人
スーバ	5人